

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年1月14日
【四半期会計期間】	第22期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	R P Aホールディングス株式会社
【英訳名】	RPA Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 高橋 知道
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
【電話番号】	03(5157)6388
【事務連絡者氏名】	取締役 松井 哲史
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
【電話番号】	03(5157)6388
【事務連絡者氏名】	取締役 松井 哲史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第3四半期 連結累計期間	第22期 第3四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年11月30日	自2020年3月1日 至2020年11月30日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	7,283,012	8,228,469	10,070,530
経常利益 (千円)	248,694	250,584	382,083
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	38,384	34,179	17,363
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	38,384	34,179	17,363
純資産額 (千円)	13,113,964	13,155,263	13,106,803
総資産額 (千円)	17,901,823	17,896,579	18,028,202
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	0.69	0.58	0.31
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	0.61	0.53	0.27
自己資本比率 (%)	73.2	73.5	72.7

回次	第21期 第3四半期 連結会計期間	第22期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年9月1日 至2019年11月30日	自2020年9月1日 至2020年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 (円)	0.94	0.63

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社株式は2018年3月27日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、2019年3月27日付で東京証券取引所市場第一部に指定されました。

4. 2019年5月13日開催の取締役会決議により、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第21期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、依然として厳しい状況が続いています。段階的な経済活動の再開がみられ、一部持ち直しの動きも見られるものの、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う緊急事態宣言の再発令もあり、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,228百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は268百万円（前年同四半期比18.2%減）、経常利益は250百万円（前年同四半期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!mini」、8月に提供を開始した「BizRobo!Lite」とも導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。一方でエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件は、顧客企業での外部への委託の縮小などの影響が発生し、引き続き受注が減少しました。

その結果、売上高は2,275百万円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント利益（営業利益）は238百万円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は5,724百万円（前年同四半期比31.9%増）、セグメント利益（営業利益）は493百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は14百万円（前年同四半期比33.3%減）、セグメント損失（営業損失）は215百万円（前年同四半期は162百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が466百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が281百万円、その他の流動資産が204百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が111百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は17,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が49百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少いたしました。これは主に社債が200百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を34百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.5%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	187,600,000
計	187,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	58,596,500	58,596,500	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
計	58,596,500	58,596,500	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2021年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日 (注)	43,000	58,596,500	1,290	5,888,936	1,290	7,140

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 58,530,800	585,308	-
単元未満株式	普通株式 22,700	-	-
発行済株式総数	58,553,500	-	-
総株主の議決権	-	585,308	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,394,441	12,860,495
受取手形及び売掛金	1,313,198	1,031,365
仕掛品	634	11,302
その他	616,751	412,365
貸倒引当金	1,094	52
流動資産合計	14,323,930	14,315,477
固定資産		
有形固定資産	23,996	139,813
無形固定資産		
のれん	1,348,571	1,278,917
ソフトウェア	743,938	817,544
ソフトウェア仮勘定	250,985	120,004
その他	72	72
無形固定資産合計	2,343,568	2,216,540
投資その他の資産	1,336,707	1,224,748
固定資産合計	3,704,271	3,581,102
資産合計	18,028,202	17,896,579
負債の部		
流動負債		
買掛金	848,016	589,312
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	237,250	287,196
未払法人税等	29,700	190,316
賞与引当金	67,279	62,394
変動報酬引当金	133,122	95,158
その他	584,030	717,801
流動負債合計	3,099,399	3,142,178
固定負債		
長期借入金	1,122,000	1,099,138
社債	700,000	500,000
固定負債合計	1,822,000	1,599,138
負債合計	4,921,399	4,741,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,881,796	5,888,936
資本剰余金	6,017,915	6,025,055
利益剰余金	1,201,828	1,236,007
株主資本合計	13,101,540	13,149,999
新株予約権	5,263	5,263
純資産合計	13,106,803	13,155,263
負債純資産合計	18,028,202	17,896,579

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	7,283,012	8,228,469
売上原価	4,768,969	5,616,533
売上総利益	2,514,042	2,611,936
販売費及び一般管理費	2,185,349	2,343,121
営業利益	328,693	268,815
営業外収益		
受取利息	50	54
受取保険金	-	7,152
その他	723	7,452
営業外収益合計	773	14,659
営業外費用		
支払利息	18,441	15,860
支払手数料	23,546	257
株式交付費	24,045	-
社債発行費	8,568	-
投資事業組合運用損	3,647	7,524
為替差損	509	777
その他	2,013	8,469
営業外費用合計	80,772	32,890
経常利益	248,694	250,584
特別損失		
関係会社清算損	491	-
特別損失合計	491	-
税金等調整前四半期純利益	248,202	250,584
法人税等	209,818	216,404
四半期純利益	38,384	34,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,384	34,179

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	38,384	34,179
四半期包括利益	38,384	34,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,384	34,179
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	191,750千円	316,051千円
のれんの償却額	245,223	282,224

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ3,726,226千円増加しました。これは主に2018年11月5日に発行いたしました第5回新株予約権(行使価額修正条項・下限行使価額修正選択権及び行使許可条項付)の権利行使に伴う新株式発行によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,874,866千円、資本準備金が5,844,866千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォー メーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,745,744	4,338,737	21,465	7,105,947	177,065	-	7,283,012
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	91,659	290,203	23,202	405,064	46,389	451,453	-
計	2,837,403	4,628,940	44,667	7,511,012	223,454	451,453	7,283,012
セグメント利益 又は損失()	174,175	503,695	162,831	515,039	70,687	257,034	328,693

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 257,034千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォー メーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,275,901	5,724,377	14,311	8,014,590	213,878	-	8,228,469
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,080	6,698	31,735	44,513	13,520	58,033	-
計	2,281,981	5,731,076	46,047	8,059,104	227,398	58,033	8,228,469
セグメント利益 又は損失()	238,118	493,925	215,840	516,203	3,544	243,843	268,815

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 243,843千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円69銭	0円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	38,384	34,179
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	38,384	34,179
普通株式の期中平均株式数(株)	55,982,752	58,470,573
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	0円61銭	0円53銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	7,178,399	6,259,610
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月14日

R P Aホールディングス株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 高尾 英明 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 倉田 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているR P Aホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、R P Aホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。